

25年卒内定者の 志望理由紹介！

こんにちは！

チーム「関東居住者」です！

就活生の皆さんいかがお過ごしですか？学祭シーズンに入り、就職活動だけでなく、ゼミ・サークル活動など何かと忙しくなってくる時期かと思います。さて、今回は2025年卒内定者2名が、三菱UFJ信託銀行を志望した理由について紹介させていただきます！今後の選考に向けて少しでも皆さんの参考になれば嬉しいです！



内定者Yさんの志望理由紹介

私が三菱UFJ信託銀行を志望した理由は大きく分けて2つあります。

(1)証券代行業への強い関心

(2)福利厚生

まずは(1)証券代行業への強い関心についてです。

レアケースだと思いますが、大学で所属しているゼミでコーポレート・ガバナンスの研究をしていたということもあり、元々IR（企業と株主をつなぐ活動）に強い関心がありました。大学での学びを通じ、なんとなく「日本企業のIR活動に関係した仕事がしたいな～」と思っており、それが就職活動における軸のひとつでもありました。

信託銀行の証券代行業についてあまり詳しく知らない方に向けて簡単に説明をすると、信託銀行は上場企業の「株主名簿管理人」として企業の株主情報を管理するだけでなく、IRに関してコンサルティングを行っています。「株主名簿管理人」として業務を営んでいるのは、2024年10月現在、4信託銀行と3専業会社の7社のみであり、上場企業1社に対し1社専属契約なので、（日本に上場企業がある限り）マーケットは無くなりません。業界研究をした際に三菱UFJ信託銀行の証券代行業は業界シェアがトップということを知り、三菱UFJ信託銀行で働きたい！と思うようになりました。

その後も知るカフェを通じて証券代行業で働くOBの方にお会いする機会もあり、温厚で優しい社員さんたちの人柄に惹かれ志望度が高まりました。

余談になりますが、選考の有利不利に関わらず三菱UFJ信託銀行のOB訪問は機会があればすることを強くお勧めします！信託銀行の業務への理解が深まりますし、何より社員の皆さんが優しいので楽しいと思います！

続いて、**(2)福利厚生**についてです。

こちらの理由は最終的に内定を承諾する際の大きな決め手になりました。

私は、就活終盤に三菱UFJ信託銀行とコンサルA社の2社のどちらに入るか迷って
おりました。

前述した証券代行業業には強い関心があったものの、コンサルA社でも別の角度から
企業のガバナンスに関わる機会があり、仕事内容に関してはどちらも同じくらい
魅力的に感じていました。

そのときに比較した要素のひとつが福利厚生でした。やはり日系の金融機関
ということもあり、各種手当や休暇制度がA社と比較して圧倒的に充実しているのは
もちろんですが、個人的にはライブウィーク制度が魅力的でした。

三菱UFJ信託銀行には半期に一度、必ず5営業日連続休暇を取得しなければいけない
ライブウィークという制度があり、月曜日から休暇を取得すれば前後の土日と
合わせて9連休になります！社会人になったらシーズンオフのお得な海外旅行に
行けないことが残念だったので、海外旅行が好きな私にとっては非常に嬉しい制度
でした。

このように2つの理由から三菱UFJ信託銀行を志望したわけですが、特に(1)の理由は
選考で強くアピールしました！やはり、業務内容をある程度理解していることや、
強い興味関心を持っていることを伝えると印象が良かったのではないかと今振り返る
と思います！



内定者Oさんの志望理由紹介

ここからは、私の三菱UFJ信託銀行入社最終的な決め手となった理由について、業務面以外のところをお話ししようと思います！理由は大きく分けて2つあります。

(1) イベントや選考でお会いした社員の方々の人柄

(2) 配属リスクの低さ

まずは(1)について説明します！

私は三菱UFJ信託銀行のインターンや座談会イベントに参加していたため、何度か社員の方々とお話しする機会がありました。その際に印象に残っていたのが、社員の方々の「主体性を持って働く姿勢」です。三菱UFJ信託銀行の業務領域は多岐に渡りますが、お話しした社員の方々がそれぞれが明確なキャリアプランを持ち、やりがいを持って業務を行っていると感じました。特に印象に残っているのが、インターンでお会いしたベテランの女性社員の方のお話です。その方はある程度長い期間会社に在籍しているのですが、「次は一部門で～～に携わりたい」と明確なキャリアプランを持っていました。長い間1つの会社にいると業務がマンネリ化してしまうイメージがあったため、その方のどんどん新しいことに挑戦していきたいという姿勢は新鮮に感じました。私は将来ライフステージが変わっても働きたいと考えているため、ベテラン社員の方が主体的にキャリアを切り開くことができる環境に魅力を感じたのを覚えています。

また、選考でお会いした社員の方々に魅力を感じたことも、最終的に入社を決めた理由のひとつです。面接は和やかな雰囲気が進み、気負わず話すことができました。内々定を頂いた後も内定承諾を急かされるようなことはなく、人生の重要なタイミングなのだからよく考えるように、と言ってもらったことを覚えています。1人の学生に対して真摯に向き合ってくれるこの会社なら、信頼関係が重要な信託業務を行う上で尊敬できる方々にたくさん出会えるのではないかと思い、入社を決めました。

続いて、(2)について説明します！

私は就活を始めた早い段階から金融業界に興味を持っており、銀行や証券、保険など、信託銀行以外の金融機関も幅広く見ていました。しかし、生まれてからずっと東京に住んでいることもあり、正直なところ、金融機関の配属リスクの高さが気になっていました。そんな時、説明会などを通じて、三菱UFJ信託銀行の業務は大部分が関東圏であり、海外や地方であっても主要都市にあるということを知りました。就活を終えた時点で複数の金融機関に内々定を頂いていたのですが、業務面での理由に加えてこのような配属リスクの低さも三菱UFJ信託銀行の内々定を承諾する決め手のひとつになりました。



最後に

最後まで記事を読んでいただきありがとうございます。

「25卒内定者の志望理由紹介！」はいかがだったでしょうか。同じ内定者でも、就活で大事にしていた価値観は大きく異なることが伝わったかと思います。今回紹介した私たちの体験が皆さんの今後の就活の参考になると幸いです！

さて、いよいよ次回が最後のブログ配信となります。今回と同じく新たに2本の記事を配信しますので、ぜひ読んでいただけると嬉しいです。

では、また次の記事でお会いしましょう！！